



発行日：2025.12.15

街のイルミネーションがきらめき、冬の訪れを感じる季節になりました。

今年も残りわずかとなり寒さが厳しくなる時期ですので、体調に気をつけながら皆さんと一緒に穏やかな時間を重ねていきたいと思います。

さて、今月号ですが、季節の行事、わくわく外出企画、1年の振り返りをご紹介します。

Atoll

アトール

本宮秋祭り

毎年、お祭りの皆さんがスケッチブックに来てくださいます。

太鼓の音に合わせて体を揺らしながら笑顔で楽しまれている姿が印象的でした。太鼓台が近づくと「おお～、楽しいね!」と、祭りの雰囲気満喫。最後は太鼓台の前で記念撮影をし、地域の方々と挨拶を交わしながら温かい交流のひとつを過ごしました。

記事：石田



わくわく外出企画 ～那須街道散策～

気持ちのよい秋晴れの中、那須方面へドライブに出発しました。

今回の目的地は、ステーキ & ハンバーグのコース料理が楽しめる「イートイット和牛」。

お店に到着し、席に案内されるまで少し緊張した様子の Y さんでしたが、ひと口食べた瞬間にぱっと目を丸くし、とてもおいしそうなお表情に。

メインのハンバーグ & ステーキもペロリと完食し、やわらかいお肉に大満足の様子でした。

食後は、商業施設「GOODNEWS」でお散歩。心地よい秋風を感じながら、ゆったりとした時間を楽しむことができました。

記事：安齋



わくわく外出企画 ～アクアマリンふくしま～ & 日々の活動

前回の広報誌では、アトール・クレヨン
のメンバーさんが参加した様子をご紹介しま
した。

その際も、皆さんの表情や反応から“楽し
かった”様子がよく伝わり、大変好評の外
出企画となりました。

今回は、その続編としてアランチェのメン
バーさんが参加しています。当日を迎えるま
での間も、お土産の写真を見たり、どんな
生き物がいるのかを一緒に調べたりしなが
ら、楽しみにしている様子が感じられました。
そして迎えた当日。館内見学・買い物・食
事と盛りだくさんで、あっという間の1日と
なりました。クリオネのかわいらしい姿や、
大きなオットセイ、印象深いシーラカンス展
示など、メンバーさんにとって思い出に残る
時間になったようです。

また、活動内での小さな外出も継続して
行っています。感染症対策に配慮しながら
行う飲み物の購入では、移動や空間の把握
といった身体の使い方、商品を選ぶ際の意
思決定、順番を待つなどの社会的ルールの
理解、店員さんとのやり取りを通した対人ス
キルなど、日常生活につながる多くの経験
を積むことにつながっています。

記事：古宮



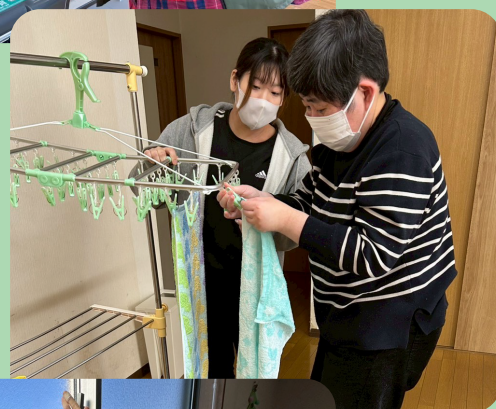
毎日の“お手伝い”が 広げてくれるもの

日々の活動の中で、生活につながる「お手伝い活動」に取り組んでいます。買い物活動では水分や日用品の購入を行い、セルフレジでお金を入れる場面も経験しました。普段の課題で取り組んでいるプットイン（物を入れる動作）がそのまま活かされ、「できた!」という嬉しい表情を見せてくれたTさん。自信につながったようです。

洗濯物干しでは、洗濯バサミをつまむ指先の動きに加えて、物干しハンガーの左右が“均等”になるように考えながら干すT・Iさん。見る力やバランス感覚を一緒に学んでいます。また、室内換気のための窓の開け閉め担当のHさん。背伸びをして鍵を開けたり閉めたりする動作がちょっとした運動にもなり、体幹や足元の安定にもつながっています。こうしたささやかなお手伝いの積み重ねが、自信や主体性につながる大切な時間となっていると感じています(*^^*)

今後も、運動に加えて、日々の生活の中にある“動くこと・考えること”を大切にしながら、皆さんと一緒に取り組みを進めていきたいと思っています。

記事：國嶋



わくわく外出企画 ～那須サファリパーク～

「どんな動物がいるかな？」と車内で色々お話ししながら出発！馬や羊など大きい動物がいるエリアでは鳴き声などに少し驚きながらも間近で見ることができて「大きかった…」と感動するKさん。

数人限定で行えるアザラシへのエサやりにも挑戦しトングで小魚を掴み口元へ！目を瞑ってモグモグ食べるアザラシを見てみんなで「可愛いー!!」と大興奮していました（スタッフも）家族や自分用のお土産も買って大満足や行事となりました◎

記事：佐藤



1年間の振り返り
今年1年、大変お世話になりました。
各事業所より、今年の振り返りをご報告したいと思います。

Atoll アトール

日頃よりアトールでの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度は、昨年導入いたしました介護ベッドが、メンバーさんの活動の幅を広げ、横になっていただく際の負担軽減につながったことを実感した一年でした。またスタッフにとっても、移乗介助時の負担が減り、安全で落ち着いた支援環境が整ってきたと感じています。

さらに今年度より、月に一度、理学療法士の先生をお招きし、メンバーさんお一人おひとりの身体の状態確認や、今後のアプローチの方向性について多方面からアドバイスをいただきながら進めてまいりました。モニタリングでもご報告させていただきました通り、少しずつ良い変化や成果が見えてきており、引き続き、より良い支援につなげていきたいと考えております。今後もうぞよろしくお願いいたします。

記事：本田

Arance アランチェ

今年も残りわずかとなりました。

日頃よりアランチェ支援、活動においてご理解、ご協力ありがとうございます。

今年もわくわく活動が盛り沢山な一年でしたが、メンバーさんそれぞれが仕事や運動にも前向きに取り組めた一年だったと感じています。理学療法士の先生の力もお借りし、支援方法を見直すこともできました。

そして今年は、メンバーさんの“やりたい”“やりたくない”“こうしてみたい”という想いを大事にしつつ、スタッフの想いや考えも伝えていくことを意識してきました。まだまだ至らないところばかりではありますが、来年も会話を大切に、より安心して過ごしていただけるようスタッフ一丸となって支援していきます。よろしくお願いいたします。

記事：奥田

Crayon クレヨン

日々のクレヨン支援、活動へのご理解とご協力ありがとうございます。

今年の夏も猛暑が続き、外活動が難しい時期も多くありましたが運動機器を追加導入していただき、1人1人の使用時間を伸ばして体力維持につなげることができました。

また、事業所内でのお手伝い活動を充実させ、モップ掛け、物品運び、買い物など、日常生活動作として体を動かしながらの活動を多く取り入れることができました。事業所内だけでなく、自宅などでもその成果が出ているといいな…!?と思っています。

苦手な部分は一緒に挑戦し、できることは伸ばしていけるような支援、メンバーさん1人1人に向き合いながら目標をもって楽しく活動できるようスタッフ一丸となって支援していきたいと思います。

記事：佐藤

Jibunchi じぶんち

今年も年末が近づき、メンバーさんと「今年も終わるね。1年あっという間だったね。」とお話をするくらい1年があっという間に過ぎ去っているなと感じた2025年でした。

今年は、日常生活に関することを一緒に行うをテーマにメンバーさんと過ごしてきました。

お昼作りやおやつ作り、洗濯物畳み等をメンバーさんとお話しながら行ってきました。

お昼作りでは、「自分で作るとやっぱりおいしいね♪」とお話されるメンバーさんもあり、今までとは違った時間を過ごすことができて嬉しく思います。

2026年度も引き続き一緒にできることは取り組みながら生活できる場にしていければと思います。また、メンバーさんの体調管理にもより一層配慮しながら支援していければと思っています。よろしくお願いいたします。

記事：須賀

編集後記

今年最後の広報誌をお読みいただき、ありがとうございます。

今号では、秋の行事やわくわく外出企画、一年の振り返りなどをお届けしました。

2026年も、メンバーさんの笑顔や日々の変化に寄り添いながら、

活動や支援をさらに充実させていけるようスタッフ一同努めてまいります。

各事業所では、ただいまクリスマス会が行われています。その楽しい様子は、次号でご紹介する予定です。

今年一年、本当にお世話になりました。

寒さが増す季節ですので、どうぞ体調に気をつけて良い年末をお迎えください。

来年も、一緒に楽しい時間を積み重ねていければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員：飯田